

平成22年4月12日

各 位

株式会社 三井住友銀行

東洋紡績株式会社に「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、東洋紡績株式会社（代表取締役社長：坂元 龍三）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じた社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった東洋紡績株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握の状況」「環境マネジメントシステム」「環境ビジネス・環境コミュニケーション」の面で非常に高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を行っているとの高い評価となりました。

特に、①1998年より環境製品の統一ブランドである「エコパートナーシステム[®]」製品を展開されていることに加え、2006年からすべての製品開発・生産技術開発、インフラ設備開発において環境影響を考慮・評価する「エコレビュー制度」を実施されている点、②優れた海水淡水化技術により、世界的に関心の高まる水資源問題の解決に貢献されている点、③地球温暖化防止に向け、燃料転換の推進や、業種を超えた共同輸送・モーダルシフト等の物流改革に取り組まれている点、などが高く評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価融資」により、環境配慮を進める企業の取り組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動を支援して参ります。



写真①エコパートナーシステム[®] ロゴマーク



写真②海水淡水化用モジュール



写真③敦賀港を活用した物流の効率化

以 上